

キ/コも通信

第 23 号

平成 26 年 2 月 6 日
発行責任者 尾崎直利

寒にしては穏やか日和となった 2 月 1 日、14 名の精鋭が集結。

シイタケ菌の植菌や道具箱の防腐剤処理、シノブ退治のみならず、重たくて運べないことから切り倒したままになっていた太い幹部分も、薪として利用できるように玉切りました。

寒は明けても木々が芽吹く春はまだ少し先、しかし、日差しが差し込むようになった里山では新たな生命が誕生してきました。



シノブ退治も新たな局面へ



シノブが繁茂している、ビオトープエリアから水路を挟んだ南側斜面に、活動エリアにおいて数々の実績を残してきたシノブ退治班の手がいよいよ入りました。

当該エリアの植生は「シノブ」と「くず」しか認められず、勾配も急なことからなかなか手ごわいエリアです。

更に放置竹林の侵食が迫ってきていますので、竹の伐採も必要です。

シノブや竹を退治した後は、生物の多様性が確保されるような植林を進めていきたいと考えています。

ロケットストーブ試作機第3号はピザ焼き対応型

里山からの恵みである薪、その薪の有効活用策としてのみならず、大規模災害時におけるコンロとしても実績のあるロケットストーブも、試作機第 3 号ともなると大きく進化してきました。1 斗缶を 4 個使用して作成するピザ焼き対応型は、当然のこととしてパンも焼くことができる……予定です。

もっとも、作成者が作成者なだけに、この予定が予定倒れになりにやすいのですが、春の総会&バーベキュー大会までには試運転も終わらせ、無事完成させる予定ですので、楽しみに。





シイタケ菌の植菌作業



道具箱も防腐剤処理



チェーンソーを使った玉切り

朝日新聞が活動内容を掲載

1月18日の活動内容が、2月6日の朝日新聞に掲載されました。

更に、今回の活動には、京都新聞の富田記者が取材を兼ねて作業に参加してくれています。

活動を重ねるごとに里山の整備が進み、里山の整備が進むことで、新聞記事として取り上げて戴く機会も増えてきました。

少しずつではありますが、地道な里山の整備活動が評価されてきているようで、大きな励みになります。この調子で頑張るぞ～

次回活動日のお知らせ

活動日 平成26年3月1日(土)

時間 午前8時30分 市役所東玄関前駐車場

内容 木の伐採・玉切り・シイタケの植菌・シノブ退治。

木を伐採する柚人班、植菌するキノコ班、悪戦苦闘のシノブ班、道具箱を完成させる大工班を大募集します。次回の活動では、「牡蠣の蒸し焼き」も登場する予定です。みなさんの積極的な参加をお待ちしています。



メンバー募集 キノコモクラブでは常時メンバーを募集しています。

公務員も仕事外の活動に参画し、地域おこしや社会貢献をどんどんやろうじゃないか。この想いを持つ全国の国・地方の公務員が、「地域に飛び出す公務員ネットワーク」のもとで活躍しており、キノコモクラブのメンバーも活動内容を全国に発信しています。

里山からの恵みを享受しながら、持続可能な活動を目指しています、みなさまの積極的な参画をお願いします。

興味のある方は、木津川市役所観光商工課武田までヨロシク。